

「マエストロ、私をスキーに連れてって」 キャンプ講演会

三澤洋史

学生時代～体育会系への嫌悪

何故嫌悪していたのか？

勝つことだけを求めるスポーツのあり方

現代のマスコミ

「ズバリ、金メダル取れそうですか？」

根性を鍛える指導法への疑問

スポーツとは

スポーツは、人間の持つ根源的な欲求

スポーツ、芸術、宗教は、人間のみの行為

可能性への挑戦

自己の肉体との対話

音楽とスポーツ

音楽とは、局所的な筋肉を使った高度なスポーツである

音楽の目的～表現

スポーツの目的～肉体の可能性への挑戦

音楽における *virtuosity* と、精神性あるいは表現の個別性

好みだけではなく、コンクールなどを通して評価される優劣

表現に関して、テクニックの占める割合の大きさ

音楽の中に感じられる、物理的要素

重力

躍動感

コントラスト

音符間の運動性

フレーズ感

音楽 Virtuosity の実際

Martha Argerich (ピアノ) ショパン作曲 スケルツォ第3番嬰ハ短調 OP.39

1978年4月22日 アムステルダム コンセルトヘボウ ライブ録音

音楽と物理的要素

重力 躍動感 コントラスト 音符間の運動性 フレーズ感

音楽 Bach の場合

管弦楽組曲 BWV1066 より ガヴォット ブーレ

東京バロック・スコーラズ 指揮三澤洋史

音楽 Mozart の場合

交響曲第 40 番ト短調 K.550

ベルリン・フィルハーモニー管弦楽団 指揮カール・ベーム 1961~62 年

音楽 Beethoven の場合

ヴァイオリン・ソナタ第 9 番 “クロイツェル”

イツァーク・パールマン (ヴァイオリン)

ウラディーミル・アシュケナージ (ピアノ)

交響曲第 5 番ハ短調 “運命” Op.67

ベルリン・フィルハーモニー管弦楽団

指揮ヘルベルト・フォン・カラヤン 1962 年

交響曲第 9 番ニ短調 Op.125

ライプチヒ・ゲヴァントハウス管弦楽団 指揮クルト・マズア

1981 年 10 月 8 日新ゲヴァントハウスこけら落としのライブ録音

スキーと音楽 1 音楽の場合

テクニックの大原則

声楽の場合 *appoggiare* と *girare*

指揮の場合 放物運動

スキーと音楽 2 スキーの場合

何故ターンをするのか？

スキーにはブレーキが付いていないから

コントロールの必要性

重力と遠心力の拮抗により、外足加重と外向傾が生まれる

足のスネとブーツのベロとの深い関係

スキーで体感する音楽的要素

僕をスキーに引きずり込んだ角皆君の謎の言葉

「ターン弧」

今の自分は、音楽も全て「ターン弧」で捉えている

コブを越える時、

あたかもそこにたまたまコブがあったかのようにターンを完成させる

美しいターンを描くこと

美しいシュプールを描くこと

それは、美しいフレーズを描くことにつながる

その都度生まれる躍動感を味わうこと